



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月11日

上場会社名 株式会社ダイセキ

上場取引所 東・名

コード番号 9793

URL <http://www.daiseki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 博之

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 柱 秀貴

(TEL) 052 (611) 6322

四半期報告書提出予定日 平成23年10月12日

配当支払開始予定日 平成23年11月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績（平成23年3月1日～平成23年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	19,168	27.6	3,466	22.7	3,543	22.2	1,965	18.0
23年2月期第2四半期	15,016	12.4	2,824	36.4	2,899	35.9	1,664	60.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	43.63	—
23年2月期第2四半期	36.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	56,667	47,720	80.2	1,009.55
23年2月期	54,435	46,177	80.8	977.07

（参考）自己資本 24年2月期第2四半期 45,472百万円 23年2月期 44,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	9.50	—	10.50	20.00
24年2月期	—	10.00	—	—	—
24年2月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成24年2月期の連結業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,820	13.7	6,250	15.9	6,380	14.1	3,470	11.3	77.03

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期 2 Q	45,124,954株	23年2月期	45,124,954株
24年2月期 2 Q	83,188株	23年2月期	82,770株
24年2月期 2 Q	45,041,926株	23年2月期 2 Q	45,042,701株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ日本経済は回復局面を迎えることとなりました。しかしながらその水準は震災前に届かず、さらには原発事故に端を発した電力不足、急速な円高及び世界経済の先行き不透明感など内外の問題が山積し、今後の日本経済の回復に関しての不透明感はむしろ強まってくる状況となりました。

当社グループの主力事業である産業廃棄物中間処理・リサイクル事業におきましては、震災被害を受けた関東・東北地方の工場の復旧作業の支援は減少いたしました。反面、震災により被害を受けたサプライチェーンの回復等により自動車を中心とした国内主要製造業の生産回復がみられ、大きく落ち込んだ自動車関連業界からの受注は回復しつつあります。しかしながら、世界経済の減速によりエレクトロニクス産業の生産はむしろ減少傾向となり、同業界からの受注は減少傾向となっております。このように、国内製造業の生産回復には業界により大きくばらつきが見られ、当社の受注も急回復とはならず、ほぼ第1四半期と同水準の業績となりました。対して、当社グループ企業である土壌汚染の調査・分析・処理事業を行う株式会社ダイセキ環境ソリューションにおきましては、昨年度前半に底をつけたあと順調に回復しつつある国内土壌汚染関連市場の中での積極的な営業展開とダイセキグループとしてのシナジー効果により、当第2四半期連結累計期間も大幅な増収増益となりました。

一方、鉛リサイクル事業を行う株式会社ダイセキMCRにおきましては、震災の影響による点検や修繕等により一部期間の生産が不安定となりましたが、それ以外では引続き稼働率はほぼ100%で推移いたしました。このため、鉛事業の業績は、鉛の販売価格と使用済バッテリーの仕入価格により大きく左右される状況が続きました。こうした状況下、LME鉛相場はほぼ想定どおり推移しましたが、急速な円高により国内鉛市場は下落し、その影響により第2四半期は第1四半期と比較し減益となりました。なお、平成22年9月より連結子会社となりました大型タンク洗浄の大手であるシステム機工株式会社におきましては、震災の影響により第1四半期から第2四半期にずれ込んだ案件も順調にこなし、さらにはダイセキグループ各社とのシナジー効果も出始めたことにより、業績も第1四半期を大きく上回ることとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,168百万円（前年同四半期比27.6%増）、経常利益3,543百万円（同22.2%増）、四半期純利益1,965百万円（同18.0%増）と増収増益を確保いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は56,667百万円と前連結会計年度末に比べ2,232百万円増加いたしました。これは資産の部におきましては、主に受取手形及び売掛金が972百万円、投資有価証券が466百万円、たな卸資産が403百万円それぞれ増加したことによります。負債の部は8,946百万円と前連結会計年度末に比べ689百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が745百万円増加したことによります。純資産は47,720百万円と前連結会計年度末に比べ1,542百万円増加いたしました。これは主に利益獲得により利益剰余金が1,492百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動による資金の獲得2,689百万円、投資活動による資金の支出1,123百万円、財務活動による資金の支出858百万円により、前連結会計年度末に比べ707百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には18,605百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の支払額1,297百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益3,542百万円、仕入債務の増加額818百万円等により、総額では2,689百万円（前年同四半期比10.9%減）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出794百万円、投資有価証券の取得による支出493百万円等により、総額では1,123百万円（同189.6%増）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額478百万円等により、総額では858百万円（同52.1%増）の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月13日に公表しました連結業績予想から修正はおこなっておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,623	17,917
受取手形及び売掛金	6,938	5,966
たな卸資産	1,750	1,346
繰延税金資産	272	263
その他	299	717
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	27,864	26,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,221	4,412
機械装置及び運搬具(純額)	1,695	1,804
土地	10,263	10,047
建設仮勘定	450	250
その他(純額)	195	106
有形固定資産合計	16,826	16,620
無形固定資産		
のれん	2,106	2,241
その他	279	285
無形固定資産合計	2,385	2,527
投資その他の資産		
投資有価証券	6,277	5,811
繰延税金資産	717	674
その他	2,597	2,616
貸倒引当金	△2	△7
投資その他の資産合計	9,590	9,094
固定資産合計	28,802	28,243
資産合計	56,667	54,435

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,148	2,403
短期借入金	845	1,120
未払法人税等	1,579	1,521
賞与引当金	292	221
その他	1,763	1,666
流動負債合計	7,630	6,932
固定負債		
長期借入金	268	353
退職給付引当金	746	718
役員退職慰労引当金	255	244
その他	47	7
固定負債合計	1,316	1,324
負債合計	8,946	8,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,051	7,051
利益剰余金	32,024	30,532
自己株式	△127	△126
株主資本合計	45,331	43,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140	170
評価・換算差額等合計	140	170
少数株主持分	2,248	2,168
純資産合計	47,720	46,177
負債純資産合計	56,667	54,435

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	15,016	19,168
売上原価	10,161	13,346
売上総利益	4,855	5,822
販売費及び一般管理費	2,031	2,355
営業利益	2,824	3,466
営業外収益		
受取利息	67	68
受取配当金	5	8
その他	16	15
営業外収益合計	90	91
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産賃貸費用	9	8
その他	0	1
営業外費用合計	14	14
経常利益	2,899	3,543
特別利益		
固定資産売却益	1	6
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	—	0
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	9	5
投資有価証券評価損	2	3
特別損失合計	11	8
税金等調整前四半期純利益	2,889	3,542
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,544
法人税等調整額	△66	△43
法人税等合計	1,220	1,501
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,041
少数株主利益	4	75
四半期純利益	1,664	1,965

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,889	3,542
減価償却費	755	700
のれん償却額	97	135
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	28	71
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20	27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7	10
受取利息及び受取配当金	△73	△76
支払利息	5	4
固定資産売却損益(△は益)	△1	△6
固定資産除却損	9	5
投資有価証券評価損益(△は益)	2	3
売上債権の増減額(△は増加)	△460	△936
たな卸資産の増減額(△は増加)	96	△403
仕入債務の増減額(△は減少)	272	818
未払金の増減額(△は減少)	△31	△27
未払消費税等の増減額(△は減少)	75	9
その他	△38	47
小計	3,621	3,918
利息及び配当金の受取額	73	73
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△667	△1,297
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,021	2,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△13
定期預金の払戻による収入	10	15
投資有価証券の取得による支出	△89	△493
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1	100
保険積立金の積立による支出	△52	△15
保険積立金の解約による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△194	△794
有形固定資産の売却による収入	83	56
無形固定資産の取得による支出	△8	△0
長期貸付けによる支出	△127	△0
その他	8	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△387	△1,123

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50	△275
長期借入金の返済による支出	△155	△85
配当金の支払額	△424	△478
少数株主への配当金の支払額	△32	△11
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△0	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△563	△858
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,069	707
現金及び現金同等物の期首残高	17,004	17,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,074	18,605

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。